

広報  
[なか]

# NAKA

2023 春号 VOL.181

公益社団法人 名古屋中法人会



DAIRY 2023	1
令和5年 年頭のごあいさつ	2
公益社団法人名古屋中法人会 会長 杉浦 正樹 氏	
名古屋国税局 課税第二部長 磯部 剛 氏	
局長インタビュー	4
名古屋国税局 局長 山西 雅一郎 氏	
シリーズ この人	8
伊勢根付職人 梶浦 明日香 氏	
《ダカラオモシロイNAKA》	
大須大道町人祭法人会PR活動	12~13
大須裏門前公園清掃・健康器具寄贈	
クラウン派遣・福祉施設の児童 科学館招待	14~15
署長講演会・バス研修旅行	16~17
支部、組織、厚生委員会会議	
平和学区パトロール	
若者から学ぶ企業成長	18
税に関する作品表彰式・展示	19
ニコニコランド・ミニサッカー大会	20~23
《健やかサークル》	
魅力あふれる伝統食材 麩（ふ）	24
《ものづくり愛知の至宝》	
屏風に梅鉄線扇模様小袖	25
シリーズお時間拝借	26
京菓子司 松屋長春 西村 有揮 氏	
《社長の“やる気”サポート》	
インボイス制度・新設法人・決算期別研修会	30~31
県連税制講演会・大規模法人研修会	
日経シンポジウム	32
全法連全国大会（千葉・沖縄大会）	34
新たな起業と事業承継	
納税表彰式	35
《会員サロン》	
料亭つたも 会長 深田 正雄 氏	36
新しいお仲間です	39
《行事メモ》	40



表紙の写真

伊勢根付職人 梶浦 明日香

1981年岐阜市生まれ  
四日市市在住  
元NHK名古屋放送局・津放送局キャスター  
東海女性職人グループ「凜丸」代表「常若」主宰  
2010年 根付職人 中川忠峰氏に弟子入り  
2020年 スイスローザヌにて展示  
2022年 名古屋国際デザインセンター展示



# DIARY 2023

feb. 2

- 3金 決算期別研修会(1・2月期)  
講師：名古屋中税務署 担当官  
昭和ビル9Fホール 13:30
- 9木 市内9法人会合同講演会  
講師：鈴木 大地 氏  
日本特殊陶業市民会館 13:30
- 15水 正副会長会  
昭和ビル9Fホール 15:00
- 22水 愛知県連・大規模法人経営者  
国税局長講演会  
講師：名古屋国税局長  
山西 雅一郎 氏  
名古屋マリオットアソシアホテル

mar. 3

- 2木 東海法人会連合会大会静岡大会  
ホテルグランヒルズ静岡 静岡市
- 15水 理事会  
昭和ビル9Fホール 15:00
- 27月 常任理事会  
昭和ビル9Fホール 15:00

apr. 4

- 4火・5水・6木・7金  
新入社員研修会  
社会人の租税教室  
名古屋中税務署・広報広聴官  
昭和ビル9Fホール  
10:00-16:30
- 4火 女性部会 通常総会・理事会  
記念公演 講師：山田 ゆき 氏  
名古屋東急ホテル 14:30
- 5水 青年部会 総会・役員会議  
東京第一ホテル錦 18:00
- 12水 理事会  
昭和ビル9階ホール 15:00  
経営研究会 総会  
東京第一ホテル錦 18:00
- 14金 決算期別研修会(3月決算)  
昭和ビル9Fホール 13:30
- 28金 愛知県連 正副会長会議・理事会  
名鉄グランドホテル 12:00

may. 5

- 11木 決算期別研修会(4-6月決算)  
昭和ビル9Fホール 13:30
- 24水 親会 第12回通常総会・理事会  
記念講演会  
講師：大沢 在昌 氏  
名古屋東急ホテル 14:30

jun. 6

- 9金 名古屋中税務連絡協議会 総会  
名古屋中税務署会議室 11:00
- 20火・21水・22木  
2023年度 税制改正の実務ポイント  
研修会  
昭和ビル9Fホール 13:30

色文字は一般参加の事業

新型コロナウイルス感染拡大等の状況により、変更または中止となる場合があります。  
名古屋中法人会ホームページをお確かめのうえ  
お出掛けください。

<http://www.meinaka-hojinkai.or.jp/>







公益社団法人名古屋中法人会 会長

## 杉浦 正樹



### 令和5年 年頭のごあいさつ



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、日頃から法人会の活動に対しまして深いご理解と暖かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない中、ロシアによるウクライナ侵攻に始まった一年は国内経済にも大きな影響を及ぼし、この地方でも経済・文化をはじめあらゆる方面で大きな打撃を受けた一年でした。

そのような中、リモートワークやオンライン会議をはじめとする各種のウイズコロナに則した対応や、きめ細かな感染症対策を皆様に取り入れられてきたことで、経済活動も少しずつ回復の兆しが見え始めました。

さて、名古屋中法人会は公益社団法人として、税務研修会、社会貢献事業等を進め、コロナ禍の中、感染対策を十分に講じた上で、春から夏には「各種税務研修会」、秋には「ニコニコランド」「大規模法人研修会」「ミニサッカー大会」等を開催し、多数の市民参加を得ることができました。

このような状況下ではありますが、名古屋中法人会は税のオピニオンリーダーとして企業の発展と地域の振興を支援し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体として、税務研修会等を通じて会員の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の高揚と企業経営及び社会の健全な発展を目指すと共に、「保育園・幼稚園や社会福祉施設へのクラウンの派遣活動」、小学校における「租税教室」の開催などを行い、地域社会への貢献に努めて参ります。

皆様には今後とも法人会の活動に倍旧のご理解、ご支援をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

結びになりましたが、この新型コロナウイルス感染拡大の一日も早い収束と、会員各社のますますのご繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



金鯰 雄



名古屋国税局 課税第二部長

## 磯部 剛

令和5年の年頭に当たり、公益社団法人名古屋中法人会の皆様に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、平素から税務行政につきまして深い御理解と格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

名古屋中法人会におかれましては、税のオピニオンリーダーとしての責務を果たすべく、「租税教室」や「税に関する絵はがきコンクール」といった税の啓発活動のほか、地域社会への貢献活動も実施していただいております。貴法人会は、会員企業と地域社会にとって無くてはならない存在となっております。

私どもにとりましても、皆様のこうした活動は大変心強いものであり、杉浦会長をはじめ役員の皆様並びに会員の皆様の日頃の御尽力に対しまして、心から敬意を表します。

私は、昨年七月の着任以来、機会あるごとに「法人会の皆様は税務の組織にとって強力なサポーターであると同時に、私どもの組織の在り方や税務行政の執行等について、厳しい御意見を頂戴することで、より良き税務行政の執行の道を示してくれるかかりつけのドクターです。」と申し上げてまいりました。

猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、依然として予断を許さない状況にありますが、コロナ禍以前と同様、否、コロナ禍以前にも増して、税務組織の良きドクターとしての御意見をお聞かせいただくよう、新しい年を迎えるこの時に、改めてお願い申し上げます。

また、当局におきましては、昨年に引き続き、本年10月に開始される適格請求書等保存方式（インボイス制度）について、より多くの事業者の皆様へ制度の内容を十分理解していただき、開始に向けた準備が進められるよう取り組んでいるところです。

貴法人会の皆様におかれましては、これまでも登録申請書の早期提出に向けた周知・広報活動や説明会の開催に御協力をいただいております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今後も、皆様の御理解のもと連携を図りたいと考えておりますので、引き続き、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たりまして、本年が公益社団法人名古屋中法人会の更なる御発展と、会員の皆様の御健勝並びに事業のますますの御繁栄の年となるよう祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。



金鯱 雌



名古屋国税局長 山西 雅一郎氏

局長インタビュー



名古屋国税局長として、税務行政の第一線に立たれています。ご抱負からお聞かせください。

国税庁は「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」ことを使命としています。適正かつ公平な賦課及び徴収の実現が任務です。名古屋中税務署は明治29年に名古屋税務署として設置されました。名古屋国税局も明治29年に名古屋税務管理局として始まり、7月に局長を拝命して94代目となります。明治29年11月主税局通牒「税務官吏服務心得」を抱負として引用します。今の時代も変わらないと考えます。「臣民納税の義務は、法律に依るにあらざれば之を定むるに能わず。税務官吏は実に租税法規の執行を任とするものにして、その処弁の結果は直ちに臣民の休戚（注：幸・不幸）、政府の歳入に關す。誠に、この職務に従うもの自らその任務の軽からざるを省み、常に慎重の注意をなし、いやしくも過誤遺漏なからんことを期せざるべからず。」

名古屋国税局での勤務は高山税務署長と伺っています。高山での思い出などお聞かせください。

平成5年7月から1年間高山税務署長として務めました。全国で6番目の管内面積で、当時全国平均の3倍の清酒消費量を誇る土地柄でした。28歳の若い署長として地元企業、商店街の経営者や建設、農林業の人々などにおつきあいを通じて、世間知らずの自分を教育していただきました。能狂言、長唄などの伝統芸能にも出会え、節分の行事などを体験させていただきました。中山間地域、過疎地の飛騨10万石は天領177年の歴史があり、代官、郡代が施政を行った地でもあります。人々は保守的で天明の飢饉時代の一揆、大原騒動や、明治初年に革新的な改革を行う27歳の青年知事を追い出した梅村騒動が昨日のこのように話されている土地柄でした。平成5年は全国で長雨のため米がとれず、タイ米が輸入された時期でもありました。

名古屋国税局へは、およそ30年ぶりになられます。東海地方および名古屋の印象はいかがでしょうか。

一之宮や国分寺、国府が置かれた時代から、また、熱田神宮の存在、もとより伊勢神宮、源氏や平家、戦国武将など古くからの歴史と文化が大事にされる街だと思えます。清洲越し、半田、豊橋、三河、津、伊勢、松阪、浜松



などの商業の発展がものづくりの基礎にあると考えます。

前職の内閣府の地方創生、デジタル田園都市構想の観点からみると成長の起爆剤となる太平洋側の中心地域ととらえています。航空宇宙産業クラスター形成やふじのくに先端医療のための総合特区もあります。この30年で道路、鉄道、港湾、空港がさらに整備され、人々と物の動き・対流が促されています。都市再生緊急整備地域として、名古屋駅、伏見から錦までがさらに整備され、リニア新幹線が開通すると、国土形成計画のスーパーメガリージョン構想の中心として、大阪や東京を経済で先導する地域になります。そのための質の高いインフラ整備が重要と考えます。「為替が3割下落していることは、生産性が弱くファンダメンタルズが変わった証」と捉えれば、人件費の3割安い日本での工業誘致でも東海地方は有利な地域です。大須観音のような若者を魅了する地域再生は全国モデルケースとなり得ます。

**ご出身が香川県とお聞きしています。幼いころはどのようにお過ごしでしたか。**

出身は香川県小豆島で、昔は寒霞渓正宗というお酒、醤油や味噌も作っていたと聞いています。大阪で育ち、神戸の中学高校に通いました。当時はワンダーフォーゲル部で土日は六甲山でキャンプをしていました。生徒会では学校新聞を作っていました。

**学生時代の思い出と大蔵省を選ばれた経緯をお聞かせください。**

大学では第一高等学校・東京大学弁論部に入りました。1年生夏の合宿にはOBの大蔵省や経団連、企業などの先輩が参加され、国の在り方について議論をし、しごかれました。2年の時に部長をしましたが、弁論部に入ってよかったのは、今でも同じ大学の仲間とだけではなく、弁論大会で交流のあった数多くの他大学の雄弁会や弁論部の先輩や友人とも今でもコンタクトがとれることです。幸運なことに4つのゼミに入ることができました。行政法の塩野宏先生、民法の星野英一先生、英米法の田中英夫先生、政治学の佐々木毅先生にご指導いただきました。

大蔵省に入ることができてよかったと思います。バブル最盛期に官庁周りをし、最終的に大蔵省を希望したのは、活力のあり経済社会の実現のために最終的に大蔵省が予算をまとめる担当として責任をとる仕事をしている官庁と考えたからだと思います。大蔵省に入ってから様々な分野で仕事をし、他ではできない貴重な経験をしています。

**これまでで印象的なお仕事、忘れられないご体験がございましたらお聞かせください。**

財務省での勤務は36年目になりますが、他の人と比べても経歴が沢山になっています。北海道の仕事を2年した際には自分は北海道出身者だと思い切って北海道の開発計画や建設、港湾、漁港、空港、農業のインフラ整備、アイヌの仕事に没頭しました。国際面では、インドネシアでのアジア通貨危機の経験とマニラのアジア開発銀行という国際機関での経験は貴重なものでした。若いころのインドネシアの話をします。

インドネシアは1995年当時日本が最大のODA援助国であり、国際収支の赤字等の管理が重要でした。米国留学組のインドネシア大蔵省・中銀の高官の方々とマクロ経済指標を通じた政策対話を通じて多くを教えられました。1997年夏にエルニーニョ現象による異常乾燥が発生。人口2億人の国では3期作による米の収穫が必須で、確保できなければ民の反乱がおきると飛騨での経験から察知しました。そして米国の金利上昇等による外資流出でアジア通貨危機に巻き込まれます。直前までの財政と金融の拡張で景気が過熱する中、スハルト大統領の開発独裁体制への不満が高まり、翌年には通貨ルピアが最終的に4分の1から5分の1の水準に下落しました。日本はインドネシア当局との交渉、欧米各国、世銀やIMFとの協議で皆で知恵を絞りました。日本はルピア防衛のためにインドネシア当局、シンガポール当局と為替の協調介入も実施しました。中国（華人）系銀行が暴動で襲われ、女子職員等が被害に。空港に行くと500人以上の華人が避難して壁際に寝泊まりしていました。ビルの屋上に上が



## ■ 局長講演

日時／令和4年11月15日(火) 14:45～16:15  
会場／名古屋大学キタンホール  
(旧 経済学部カンファレンスホール)

### テーマ／税務行政の現状と課題

- I 税務行政
- II 地方創生関係

ると数か所で火の手黒煙が見えました。邦人登録数が1万人、推定3万人が居住しており、このまま滞在するためには、まずは飲料だけでジャンボジェット15機分の緊急輸送が必要と計算されました。邦人の緊急避難が始まりました。大使館員は24時間勤務となりました。人々の要求にインドネシア当局・国軍が最終回答をする期限の前日、自分は大使館前の大通りでの流血の惨事を回避する希望のないまま大使館隣のホテルに戻って爆睡。翌朝はとても晴れていたと記憶しています。大使館に戻るとスハルト大統領が辞任する政府発表がなされていました。6月に日本に帰任しますが、その直前に発表された新体制の50人前後の閣僚名簿の3分の1はよく接触する機会があったインドネシア大蔵省・中銀の方々でした。2002年からマニラの国際機関、アジア開発銀行で千野忠男総裁、黒田東彦に理事代理として自分は仕えましたが、インドネシアの理事はインドネシアで最初に挨拶をした大蔵次官で後に財務大臣、日本大使をされました。2005年イスタンブール年次総会で会った財務大臣はインドネシア赴任時には中銀の専務理事で自分にとってはマクロ経済政策の手ほどきをしてくれた方でした。

### 三年続いたコロナ禍がやや下火になってきたように感じます。税務行政に影響はございましたか。

その時々での感染の状況に柔軟に対応しますが、確定申告会場では新型コロナウイルスやインフルエンザなど感染症対策を適切に行います。自宅等からのe-Taxを利用した申告とキャッシュレス納付を推進する方針です。デジタル技術の進展等を踏まえた利便性の高い申告・納税手段を提供するなど、納税者サービスの充実に努めております。一方で、適正な申告を行った方々が不公平感を抱くことのないよう、悪質な納税者に対しては、組織を挙げて厳正に対応するとともに、様々なデータを分析・活用するなど、課税・徴収の効率化・高度化への取組も推進しております。

### 11月15日に名古屋大学でご講演されます。学生に伝えたいことを教えてください。

消費税の税率が所得税、相続税、法人税を上回る現状です。財政赤字は拡大し、将来の負担は大きくなっています。これからの名古屋を支える学生の皆さんに税金の話をするほかに、地方創生の話をしていただきました。インフラの整備、リニア新幹線とスーパーメガリージョン構想、都市再生、地域再生などです。

国の施策や交付金等を地元の自治体がうまく活用すること、少子高齢化や東京一極集中を是正するために、地元の若者たちがリーダーとなって地域の振興策を考えていくことが、1750を超える都道府県、

市町村の中でこの地域が生き抜いていくためには不可欠です。若い学生の皆さんが各々の進まれる道の中で考え、また、取り組んでいただきたいです。

### 消費税のインボイス制度の導入まであと一年を切りました。会員の皆さんにお伝えしたいこと、お願いしたいことなどございましたらお願いいたします。

名古屋中法人会及び会員の皆様には、インボイス制度に係る周知・広報や登録申請書の早期提出に御協力をいただき感謝申し上げます。

インボイス制度が始まる令和5年10月1日からインボイス発行事業者となるためには、原則として令和5年3月31日までに登録申請を行う必要があります。登録申請を予定されている事業者の皆様には、余裕をもって事前の準備ができるように、早期の登録申請書をお願いしています。登録申請書の提出に当たっては、e-Taxを御利用いただくと、書面に比べて登録通知を早く受け取れます。また、登録通知も、紛失リスクがないことから、e-Taxでの受領をお願いしています。

### 酒類業の振興を図るために実施している国税庁の取組の内容をお聞かせください。

酒類の国内市場は、特に新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食店における酒類の消費は大きく減少したままです。一方で、輸出は、清酒やウイスキーを中心に昨年初めて1,000億円を超え、10年連続で過去最高を記録しました。「酒類業の健全な発達」は国税庁の任務の一つです。酒類事業者による国内外の新市場開拓の取組と、輸出促進に向けた商品等の高付加価値化やブランド戦略策定の取組に対する補助金制度、海外における商談会・プロモーションの実施など、国内向け施策と輸出促進施策を両輪として、様々な事業を実施しています。

### 「日本の伝統的な酒造りの技術」のユネスコ無形文化遺産への登録に向けた取組の内容をお聞かせください。

日本の伝統的な酒造りの技術は「こうじ菌」を使う独特のものであり、昨年12月に国の登録無形文化財に登録され、本年3月にはユネスコ無形文化遺産への登録に向けた提案が行われました。登録できれば世界のより多くの方々に日本の伝統的なお酒に更なる関心を持っていただく大きな機会になると考えています。

この機運を盛り上げるため、名古屋国税局は先日(11月5日)、「伝統的酒造りシンポジウムin名古屋」と題して、伝統的酒造りの一つである「みりん」の魅力を発信するイベントを開催しました。

法人会の事業もウィズコロナとともに、少しずつ事業が再開されつ



取材日時／令和4年11月2日(水) 10:30~11:30  
 取材場所／名古屋国税局 局長室  
 聞き手／森田文二、古市晴比彦、加藤育美、鶴岡一美



つあります。ご助言をいただければ幸いです。

名古屋中法人会には、公益社団法人として税の啓発活動や地域社会への貢献活動など幅広い事業活動を非常に活発に展開していただいております。改めて感謝申し上げます。法人会の事業活動を安全に実施するために、新型コロナウイルス感染症の基本的な感染対策を講じたうえで、工夫を凝らした様々な事業を行っていると感じています。皆で集まろうと勇気をだして発言しあうことが、再開に向けての第一歩になると思います。

その中で、久屋大通公園で3年ぶりの対面開催となる「名古屋ニコニコランド」が10月に開催され、参加した子供たちに税金の使い道等について楽しく学んでいただきました。この事業は、長年名古屋中法人会が続けられている租税教育活動の内の一つで、次世代を担う児童・生徒に税について興味を持ってもらう貴重な機会となっており、大変有意義な取組です。

また、名古屋市と協力して「地域と企業と若者を結び法人会（輝ける若者を育てよう）」をテーマに、困難を有する若年層への就労支援、社会課題に着目した社会貢献活動を実施していると聞いています。さらに、「キッズダンスフェスティバル」や「中法人会TAX杯ミニサッカー大会」の主催など、コロナ禍においても、地域社会の健全な発展に寄与する活動を数多く実施していただいております。

このように、名古屋中法人会は、現在の社会情勢も踏まえた新たな取組に次々とチャレンジしており、大変頼もしく感じます。今後、時代の変化に合わせて従来の取組を柔軟に変化させていくなど、積極的に新しいことに取り組んでみたいと思います。

名古屋国税局としても、公益事業活動が活発で充実したものとなるよう、名古屋中法人会の皆様との連携・協調を図り、相互の協力関係をより強固なものにしていきたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

お好きな言葉。座右の銘はございますか。

京都の妙心寺の塔頭で出会った「話尽山雲海月情（かたりつくずさんうんかいげつこのじょう）」という碧巖録の言葉です。その前に「一重山尽又一重（いちじゅうやまつきてまたいちじゅう）」という言葉があります。人生様々なことを経験した上で友と山雲海月を語りあうという表面的な言葉の意味を超えて、どのような経験がなされ、どのような山雲海月を思い描くことができるのか、そして友とは？禅宗の修行を極めた人の言葉として、いつも考えさせられます。

## ■ 略 歴

山西 雅一郎（やまにし まさいちろう）

生年月日 昭和39年12月25日  
 本籍地 香川県  
 私立灘高等学校  
 東京大学法学部  
 コロンビア大学法律大学院



昭和62年4月 大蔵省入省（関税局企画課）  
 平成元年7月 コロンビア大学法律大学院  
 平成3年7月 大蔵省銀行局特別金融課特別銀行係長  
 平成4年7月 大蔵省銀行局調査課調査係長  
 平成5年7月 名古屋国税局高山税務署長  
 平成6年7月 大蔵省国際金融局開発機関課課長補佐  
 平成7年7月 在インドネシア日本国大使館2等書記官  
 平成9年7月 在インドネシア日本国大使館1等書記官  
 平成10年7月 国税庁課税部所得税課課長補佐  
 平成12年7月 大蔵省大臣官房文書課課長補佐（政策評価室）  
 平成14年7月 アジア開発銀行理事代理  
 平成17年7月 東京国税局徴収部長  
 平成18年7月 経済産業省製造産業局航空機武器宇宙産業課防衛産業企画官  
 平成20年7月 財務省財務総合政策研究所国際交流室長  
 政策研究大学院大学客員教授  
 平成21年7月 内閣府官民競争入札等管理委員会事務局参事官  
 兼内閣府本府公共サービス改革推進室参事官  
 平成23年1月 内閣府本府行政刷新会議事務局参事官  
 平成23年3月 兼内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付）  
 平成23年7月 預金保険機構審議役（金融再生部）  
 平成24年7月 内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付）  
 兼内閣官房郵政民営化推進室参事官  
 兼内閣官房郵政民営化委員会事務局参事官  
 平成26年7月 国土交通省北海道局予算課長  
 平成28年7月 株式会社農林漁業成長産業化支援機構取締役常務  
 平成30年2月 財務省財務総合政策研究所副所長  
 平成30年7月 国土交通省大臣官房審議官（国土政策局担当）  
 （併）内閣官房地理空間活用推進室室長代理  
 （併）内閣府国会等移転審議会事務局参事官  
 令和2年8月 内閣府地方創生推進事務局次長  
 兼内閣府本府地方創生推進室室長代理  
 兼内閣府本府規制改革推進室次長  
 令和4年6月 名古屋国税局長  
 資格 米国ニューヨーク州弁護士



# 師匠の歳になつたとき 師匠みたくないな作品が創れるように精進

伊勢根付職人

梶浦

明日香氏

シリーズ  
この人



取材日時／令和4年12月9日(金) 14時～15時  
取材場所／伊勢根付職人 梶浦氏工房(四日市市)  
聞き手／森田 文二・平木 聖三・梶浦 詩乃・鶴岡 一美

## 触りたくなる根付を創りたい

—「根付」について教えてください。

根付は、江戸時代に栄えたもので、当時は日本全国で、男性が着物の帯に引っかけて、巾着や印籠を下げるための道具でした。3～4センチほどの小さな彫刻です。

そのなかでも伊勢根付というのは、お伊勢参りのお土産として、お伊勢さんのお加護がありますようにと、人々の幸せを願ったり、縁起を担いだりといったお守りのような意味を持つことが特徴です。お伊勢さんの裏山あさまの朝熊山やまのツゲの木を使っています。このツゲの木は、世界で一番年輪がギュッと詰まっているのではと私たちが思っているほど硬くて粘りのあるツゲの木で、細かい彫刻にすごく向いています。

根付の良さの一つが、たくさん手で触って色になったのを根付用語で「なれ」と言うのですが、なれが生まれると価値が増します。

私たちは、代々使い続けてもらい、またたくさん触ってもらえる、触りたくなるような根付を創らなければならないと思っています。

根付は「隠れた美」「江戸の粋」という表現でよく美術館で展示されています。大英博物館、ボストン美術館などでは、日本の四大芸術(根付・浮世絵・漆器・日本刀)として紹介されています。数少ない日本ならではの工芸品です。

2010年、イギリスでBook of the Yearに選ばれたのは、当時ハリーマン全盛期であったのですが、『琥珀の目を持つうさぎ』という根付をコレクションする家族の回想録の本でした。

—素材はツゲの木以外にもありますか。

根付というと日本全国さまざまな材料で作られますが、伊勢根付はお伊勢参りの土産物として栄えたもので、伊勢神宮は殺生をして入ってはいけないので、伊勢根付は象牙とかではダメなんです。

—ツゲの木は、樹齢何年くらいのもを。

いまここにある直径6センチほどの木は樹齢百年くらいです。

—彫刻するのが大変そうですね。

固いので彫るのが大変です。そのぶんすごく丈夫で、使っていると美しいなれが出来ます。ここにある木は2014年に切って寝かせたものです。彫っているうちにヒビが入ると困るので、寝かせておいて乾燥しきった状態にして使います。





## 根付一つひとつに物語

—設計図などは？

頭の中でデザインして、まずノコギリで切ってノミで突いて、おまかな形にしてから彫刻刀で細かく彫っていきます。彫っていくと節が出てきたり、木の個性が出てくるので、デザインも変わってきます。

—お客様からの依頼があってから創作されるのですか。

基本的にはお客様から依頼があって、ご希望の期日と予算に合わせて創ります。ザックリとしたイメージで注文されるので、いかに楽しんでもらえるかを考えるのが私の仕事です。

—彫刻刀の種類が多いですね。

いえ、奥にはまだこの4倍以上はあります。作品に合わせて必要な彫刻刀を作るので、どんどん増えていくのです。

—根付の魅力として、粋な遊び心とありますが、こういったところが粋な遊び心なんですよね？

これは栗の中にネズミが彫ってあります。でも作品のタイトルはリスなんです。なぜでしょう？ 答えは、リスを漢字で書くと栗鼠です。(笑)

そういう、漢字の成り立ちとか、とんち・おかしみや粋など、作品に込められた意図を考えながら鑑賞していただければ嬉しいです。

—見本の栗は腐らないのですか？

??

—栗が本物だと思いました。騙されました(笑)。

職人冥利に尽きます。栗は修行で最初に学ぶ素材です。最初は栗を横に置いていましたが、もう今は頭の中にあります。

—一つひとつに物語とテーマがあるのですね。

こちらは、昔からあるマルネズミを雛祭りに合わせて、制作したものです。2019年に徳川美術館とコラボして2回展示させていただきました。源氏物語絵巻展とお雛様展のときです。ちょっとひねった洒落っ気があるのが根付なので、この御代理様とお雛様のネズミは、お雛様展の際に、雛祭りの夜には雛あられを御馳走にネズミたちも雛祭りをやっているという風景にしました。

またこれは引っ張っていただくとアラジンと魔法のランプで中にランプの妖精がいます。

## 伝統工芸職人の世界に風穴を

—東海女性職人グループ「凛九<sup>りんく</sup>」の代表をされています。グループの特色を教えてください。

女性職人は伝統工芸の世界では少ないですが、その中で東海3県は他の地域に比べて数が多いのです。女性ならではの感性で伝統工芸を発信できれば、何か面白い未来が作れるのではないかと考えました。

職人は一生をかけて成長していく世界なので、一人前になるまでに途方に暮れ、日の目を見ることなく修行を辞めていく人が多いのです。ご褒美になるような機会をいかにしてつくれるか。こうして取材していただくこともご褒美になります。

職人は、師匠と自分だけの世界なので、相談できず悩むこともあります。仲間ができ、話をしてわかってもらえたら、辞めずにすむ人も出てくるのではないかと考えています。

—具体的な活動の内容は？

展示会や販売会を開催しています。またプロジェクションマッピングで伝統工芸を表現する展示をしたり、YouTubeやSNSに力を入れて発信、いまの時代に合わせたやり方を意識しています。

—「常若<sup>とこわか</sup>」も主宰されています。

2012年に結成した三重県の若手職人を集めたグループです。若手の職人が入ってきてはいたのですが、すぐに辞めてしまうのです。収入がないので仕方ないのですが、相談できる人がいたら続いたかも知れない人が何人かいました。修行のために単身で遠くから来ている人もいて、友だちづくりや息抜きが最初の目的でした。私は2010年に職人の世界に入ったのですが、2年目くらいでは展示会ができるほどの力量がない。みんなで集まれば、どこかで販売できるのではと思ったのです。

すると、異業種のグループは珍しいと、あちこちから声をかけられました。加えて、伊勢志摩サミットのとき、盛り上げるために声をかけてもらったり、三重の魅力をアピールするために海外から呼んでもらったりもしました。「職人ってカッコいいね」と、伝統工芸に興味をもった新しい人が入ってきて、伝統工芸の世界を盛り上げていきたいと思っています。







## 自分を高められる仕事は幸せ

—NHKのキャスターをやっておられたそうですが、転機のはきは？

憧れのアナウンサーになれて仕事をしていましたが、女子アナウンサーは若さにも大きな価値がある。徐々に自分の可能性が減っていく環境で働くことが幸せか。そんなことを考えるようになったとき、師匠に出会いました。職人は一生成長という考え方で、「自分の魅力を高めたいける仕事はいいな、人として幸せ」と思うようになったのです。

キャスターの代わりはいくらでもいます。伝統工芸は後継者が減り、自分自身が先頭を走って中心を守っていかなかったら、なくなってしまふ世界です。将来が不安ではありましたが、逆に責任感も、やり甲斐も感じて、代わりがない分頑張らなければと思う世界でした。

—お師匠さんとの出逢いがきっかけと言われました。どんなお師匠さんですか。

出会ったとき「作品が優しくて温かい、このお師匠さんの元で学んだら人として成長できるかも」と思いました。老若男女が訪ねてくる師匠で、誰が来てもウェルカム。いつも誰かがいて、しばらく見ないと心配で電話を掛けるような師匠です。

師匠は、インターネットで販売するのは反対で、「実際に手にとって見てもらいたい」と言います。でも今の世の中は、それでは生きていけません。師匠は「おれはいいとは思わないが、やりたければやってみたらいい」という考え方をしてくれています。

—作品についてお聞かせください。

お伊勢参りのお土産として栄えた伊勢根付なので、「幸せ・祈り・誰かのこと」を思って彫っています。

これは蓮ですが、花びらに線が入っていて浮いています。また、こちらは芥川龍之介の「クモの糸」がテーマの根付です。お釈迦様が糸を垂らして人々を救う様子を表現した作品です。裏にクモとクモの巣を透かし彫りで彫ってあります。

根付は裏にも秘密があるので、いろいろ想像して楽しんで欲しいです。

—作品はどれくらいの日数がかかりますか。

1カ月前後です。基本的にはひとつのものをずっとやるのですが、同じものを見ていると線が曲がって見えたりするので、合間に違うものを彫ることもあります。

## 10年習って10年創って、それから人育て

—おむすびの根付は形が可愛いです。

ありがとうございます。お米一粒一粒いかに丸くするか。時間がかかるので手放すのが苦しくなってしまう。

—シイタケの光沢もリアルです。

裏を見てください。古典芸能に造詣が深い奥山景布子さんという小説家が、私たち師弟に取材して小説を書いてくださって、このキノコがキモになっています。そういう意味では、マルネズミというのは江戸時代の正直まさなおという職人がデザインしたのですが、これをモデルにして創ったのが『ねずみ』という落語であろうと言われていました。笑点でお馴染みの亡くなられた歌丸さんが得意とされていた。木彫りのねずみが動き出した！と言って旅館が大人気になった斬です。

落語で『浜野矩隋』という刀剣の腰元彫師の人情話は、職人にとっては涙なくしては聞けない、聴くたびに泣いてしまう斬です。こちらの斬にちなんだ作品も以前彫ったことがあります。

—独立して工房をもたれたので、これからはお弟子さんを育てて技術を継承していかなければいけませんね。

そうですね。なかなか環境が整いませんが、少しずつ考えていかなければいけません。私たちの世界は10年習って10年創って、その後には技を伝えるというのが一般的です。これまでの10年は師匠の作品を習う修行のときで、いまやっと自分の作品を創っていくときになりました。

—質感が素晴らしいですが、染めは何を使っているのですか？

矢車やしという松ぼっくりのような木の実の樹液を煮出して使ったりしています。

—これからの抱負をお聞かせください。

一つひとつ技術が成長していけたらと思っています。師匠の歳になったときに、師匠みたいな作品が創れるように精進してまいります。人間としての成長が作品の成長にも繋がるので、人としても成長したいと思っています。

グループとしては、一人で頑張っても仕方ないので、みんなでどれだけ、いままでやってこなかったことに挑戦できるか。師匠たちが真ん中を守ってくれているから、いま新しいことに挑戦しても、また中心に戻れます。師匠が元気なうちにいろいろな挑戦をして、みんなでも新しい道を模索していきたいと思っています。